

---

# 見えているモノ

篠崎貴和

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

見えているモノ

### 【Nコード】

N2118V

### 【作者名】

篠崎貴和

### 【あらすじ】

ただの詩にすぎませんが、私自身を含めごく少数の方にとっては存在の一部です。前回の投稿から大きく増えて15の作品をあげてみました。正直作品のタイトルをつけることってすごく難しいなと感じた奴らです。以前同様、不完全とか欠陥品じみたものが欲しい方は見ていってください。

「ノー」

いろんなことを知っています。

教科書に書いてあること、 ニュースで見たこと  
親から言われたこと 先生に教えてもらったこと、  
ぼんやり耳に入ってきたこと、 君と話したこと

誰かが言っていた 知ってることで世界はできてるって  
今見えてるものがあなたの世界だって

宇宙にきらめく星空のこと 知らない人の泣き声のこと、  
嘘はついちやダメってこと、 賢くなくちゃやってけないこと  
彼らは僕が嫌いだってこと 君が僕を信じてくれること、

ああ、 そうか

ホント 知らなかったなあ。

「カクカク」

始めたそばから 掻き消して  
一向に先に進まない

できたと思っ<sup>うたく</sup>た その瞬間から  
疑りはじめて止まらない

軽く息を抜こうとしても  
重く 鈍く 苦しく

愚かさゆえの崇高な行為  
崇高ゆえに貶されることも多々

思い違いと予想外  
時にしてやったり

誰にも始められるが  
誰にも

止められない

「起床」

朝目が覚めた  
ぼやけた視界が  
広がった

吐きたくなるほど  
ずっと見ていたい  
キレイな  
歪いびつな

ふいに起きれば  
じんわりと

くろ

「固形」

誰かの顔色  
うかがって

いえいえ  
そんなに器用じゃありません

自分のココロを  
押し込んで

いやいや  
そんなに我慢できません

他人の前では<sup>ひと</sup>  
エガオしか  
見せない

「否定」

否定なしには 生きられない。

ほら、  
また

ヒテイ。

「薬」

イキタイ  
イキタイ  
イキタイ

シニタイ  
シニタイ  
シニタイ

イキタイ  
イキタイ  
シニタイ

「4」

シってなに？  
もやもや  
探すこと

シってなに？  
ただただ  
沈むこと

シってなに？  
ときどき  
解放されること

シってなに？  
それでもまだ

縛られること

「折れた」

ひかり 屈折

僕 骨折

ぼつきり

ぐにゃり

きらきら

白い

「炭酸飲料」

冷たく

冷やした炭酸飲料

少し

勢いをつけて

飲んでみた。

焼け付いて、

ただれてしまった

心臓に

ぶちまけるように

飲み込んだ。

ひりついて

眩暈がした。

「レギオン」

秩序なき

群衆

豚を食らって  
人に倣って

飛び込んで  
溺れて  
腐る

「さんすう」

何度も

計算

重ねてみたが、

確かな

答えは

見つからない

突きさし

えぐって  
どろどろで、

単純計算

ワタシハイライナイ

「泣けなし」

涙って

甘いよな

ノドが

焼けそうだよ

うう…

酔っ払っちゃった

「イエス」

求められたから  
差し出したの

裂いて 吸出して  
コップに入れて

真っ青になったら  
つぎたして あげた

錆びた針で 縫い合わせて  
十字架のアップリケ つけてあげた

あいしているよ

あいしているよ

「からっぽ」

丸で囲んで、

両目で  
空そらを見ってみる

右目で

そらを見ってみる

左目で

ソラを見ってみる

少し

ズレた

「山茶花」

あるところ  
ヒトリの少年がいました。

とうさんも かあさんも  
やさしくて あたたかくて、  
どこにでもあるような  
そんなひとり

すくすく育って、  
笑っていました。

だけど、  
いつからだろう

彼は ひとりになりました。

何かをなくしたわけでもなく、  
かといって手にしたわけでもない  
変わらないまま  
枯れてしまったのです。

そんな少年の上には

真っ赤な花が

咲いていました

(後書き)

前作の投稿から時間がそんなに経っていないのですが、どうだったでしょう。正直現代詩って推敲を重ねたりするのが妙に躊躇われてしまって、訂正するぐらいならまとめ消したくなってしまってます。なので実はもっとたくさん書けそうなの、そんな気がするんですよね。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2118v/>

---

見えているモノ

2011年10月9日03時01分発行